

# JVCケンウッド 決算説明資料

## 2025年3月期第3四半期（IFRS）

株式会社JVCケンウッド

2025年2月3日



- \* 本資料の数値は全てIFRS（国際会計基準）となっています。
- \* 本資料における比率・差額については、円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入しています。

## ■ 2025年3月期3Q累計実績

- ✓ 売上収益は、S&S 無線システムの北米公共安全市場向け無線機の販売好調継続、M&T 海外OEMの販売堅調などから、前期比で増収
- ✓ M&T、ESが増益となったことから、事業利益※、営業利益は前期比で増益。税引前四半期利益以下の段階損益は、持分法による投資利益が増加したことなどから大幅増益

※ 売上収益から売上原価、販売費および一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなるその他の収益、その他の費用、為替差損益などを含まない。

## ■ 自己株式の取得

- ✓ 2024年11月1日～2025年1月31日の期間で実施した自己株式の取得は、上限である総額約45億円分を取得して終了

## ■ 2025年3月期通期業績予想

- ✓ 4QもS&S、M&T、ESの3分野において想定通りの販売を見込むことから、通期業績予想は変更しない

**1. 2025年3月期3Q累計決算概況**

**2. 2025年3月期通期業績予想**

**3. トピックス**

**<参考資料>**

**1. 2025年3月期3Q累計決算概況**

2. 2025年3月期通期業績予想

3. トピックス

<参考資料>

# 2025年3月期3Q累計決算 全社実績

(億円)

	'22年3月期 1-3Q	'23年3月期 1-3Q	'24年3月期 1-3Q	'25年3月期 1-3Q	前年比	
<b>売上収益</b>	<b>1,946</b>	<b>2,475</b>	<b>2,673</b>	<b>2,705</b>	<b>+ 32</b>	<b>+1.2%</b>
売上原価	1,436	1,785	1,862	1,823	△ 39	-2.1%
売上総利益	510	690	811	882	+ 71	+8.7%
売上総利益率	26.2%	27.9%	30.3%	32.6%		
<b>事業利益<sup>※1</sup></b>	<b>3</b>	<b>112</b>	<b>160</b>	<b>186</b>	<b>+ 26</b>	<b>+15.9%</b>
事業利益率	0.1%	4.5%	6.0%	6.9%		
その他の収益・費用、為替差損益等	34	83	△ 10	△ 18	△ 8	-
<b>営業利益</b>	<b>36</b>	<b>195</b>	<b>150</b>	<b>168</b>	<b>+ 18</b>	<b>+12.0%</b>
利益率	1.9%	7.9%	5.6%	6.2%		
<b>税引前四半期利益</b>	<b>31</b>	<b>193</b>	<b>149</b>	<b>183</b>	<b>+ 33</b>	<b>+22.4%</b>
親会社の所有者に帰属する						
<b>四半期利益</b>	<b>5</b>	<b>155</b>	<b>109</b>	<b>141</b>	<b>+ 31</b>	<b>+28.8%</b>
<b>EBITDA<sup>※2</sup></b>	<b>168</b>	<b>342</b>	<b>298</b>	<b>323</b>	<b>+ 25</b>	<b>+ 8.4%</b>
EBITDAマージン	8.6%	13.8%	11.2%	11.9%		

※1:売上収益から売上原価、販売費および一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなるその他の収益、その他の費用、為替差損益などを含まない。

※2:税引前利益 + 支払利息 + 減価償却費 + 減損損失で計算

		'22/3期					'23/3期					'24/3期					'25/3期					
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
損益為替レート	1米ドル	110	110	114	116	112	130	138	141	132	135	137	145	148	149	145	156	150	152			
	1ユーロ	132	130	130	130	131	138	139	144	142	141	150	157	159	161	157	168	164	163			

# 2025年3月期3Q累計決算 分野別の状況

(億円)

		'22年3月期 1-3Q	'23年3月期 1-3Q	'24年3月期 1-3Q	'25年3月期 1-3Q	前年比	
M&T	売上収益	1,116	1,484	1,488	<b>1,488</b>	△ 0	-0.0%
	事業利益	△ 13	43	31	<b>36</b>	+ 5	+16.4%
S&S	売上収益	395	520	699	<b>731</b>	+ 32	+4.5%
	事業利益	△ 2	65	133	<b>132</b>	△ 1	-0.8%
ES	売上収益	387	417	420	<b>415</b>	△ 5	-1.3%
	事業利益	19	4	△ 2	<b>17</b>	+ 19	-
その他	売上収益	48	54	66	<b>71</b>	+ 6	+8.9%
	事業利益	△ 1	1	△ 2	<b>1</b>	+ 3	-
合計	売上収益	1,946	2,475	2,673	<b>2,705</b>	+ 32	+1.2%
	事業利益	3	112	160	<b>186</b>	+ 26	+15.9%

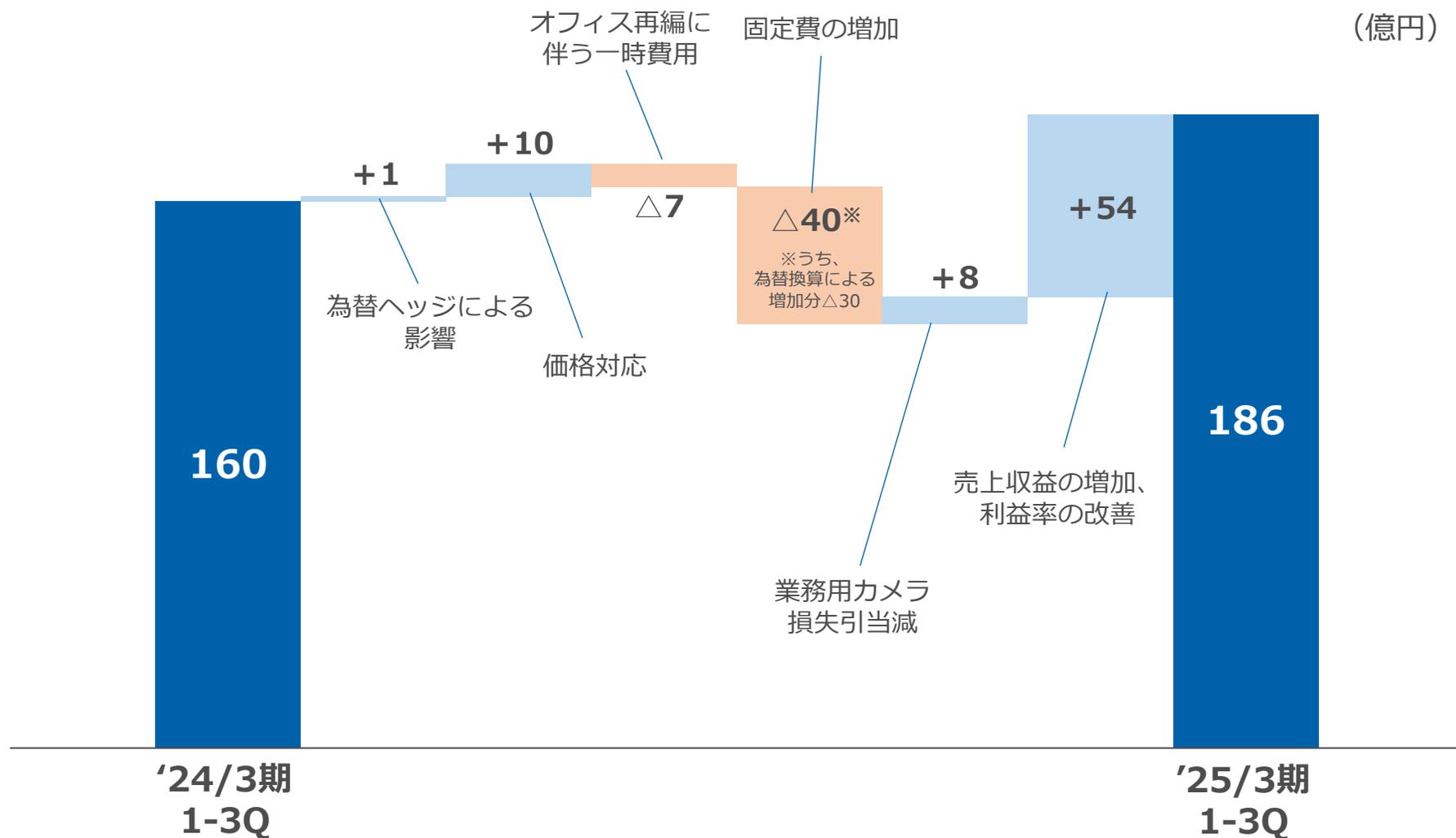
**M&T** 売上収益は、アフターマーケットが前期並み、テレマティクスが減収も、海外OEMの堅調から、分野全体で前期並み。事業利益は、海外OEMの堅調、アフターマーケットの中間期以降の販売回復から、分野全体で増益

**S&S** 売上収益は、無線システムの北米公共安全市場向け業務用無線機の販売好調などから、分野全体で増収。事業利益は、無線システムで人員増などに伴う固定費増加の影響を受けたことなどから、分野全体で前期並み

**ES** 売上収益は、メディアのポータブル電源、ヘッドホンなどの販売堅調も、エンタテインメントの販売減から、分野全体で減収。事業利益は、メディアで前期に実施した構造改革効果、固定費削減効果などにより、分野全体で増益

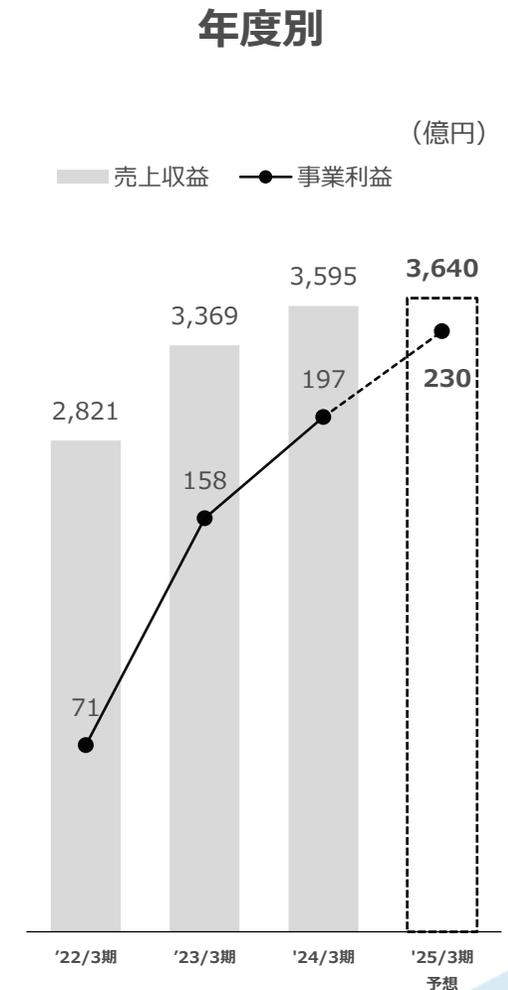
# 2025年3月期3Q累計決算 事業利益の増減要因

- 固定費の増加を、売上収益の増加や利益率の改善、価格対応などでカバーし、前期比で増益



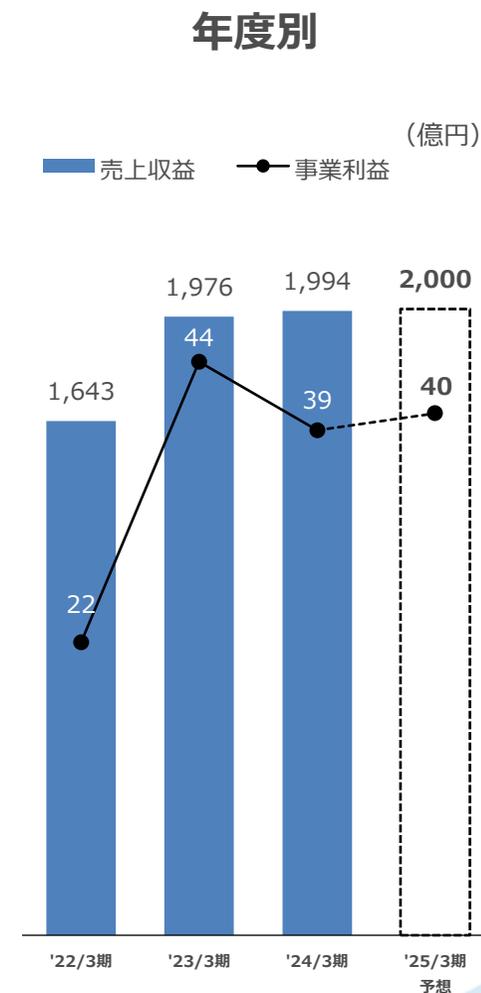
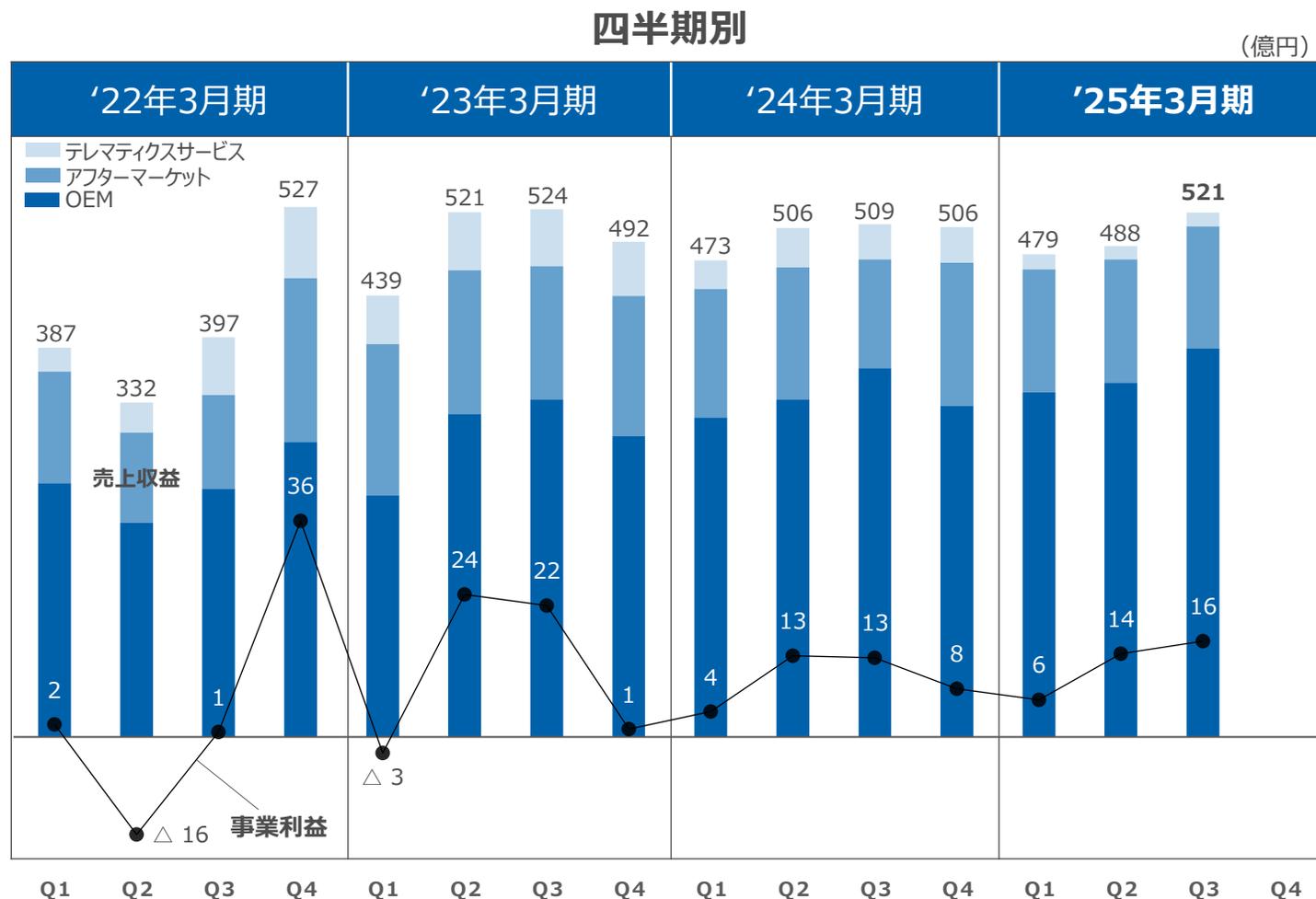
# 全社実績推移

- 3Q（10-12月）は、S&S 無線システムの北米公共安全市場向け販売好調、M&T アフターマーケットの販売回復、ES メディアの構造改革効果の発現などから、前期比で増収増益



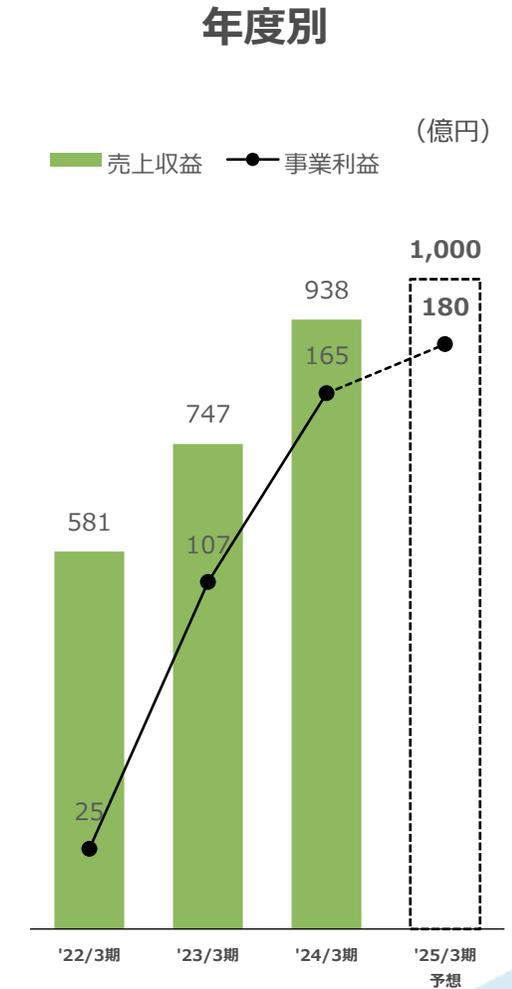
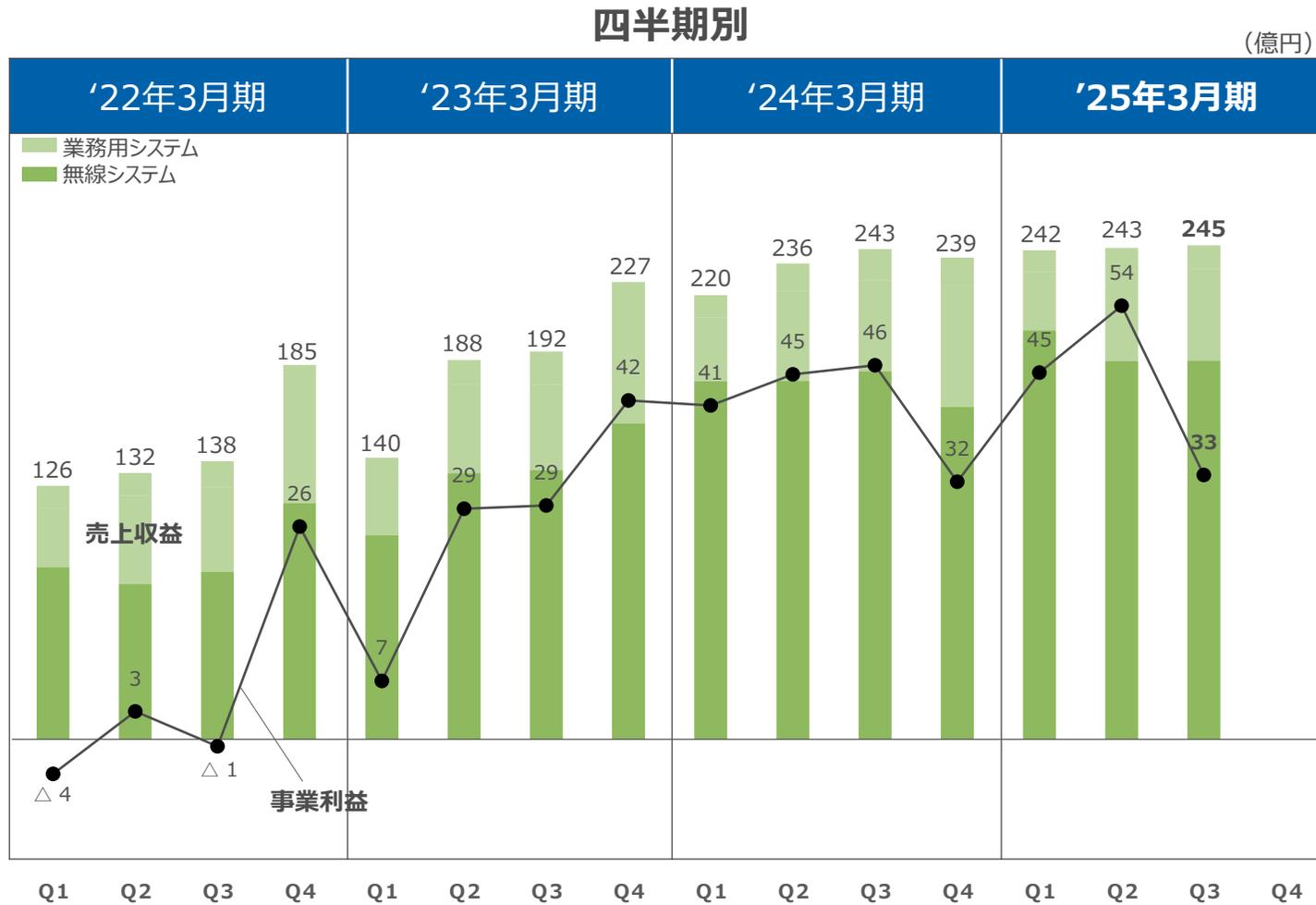
# M&T 売上収益・事業利益推移

- 3Q（10-12月）は、アフターマーケットの販売回復、国内・海外OEMの販売堅調から、テレマティクス販売減影響を受けるも、前期比で増収増益



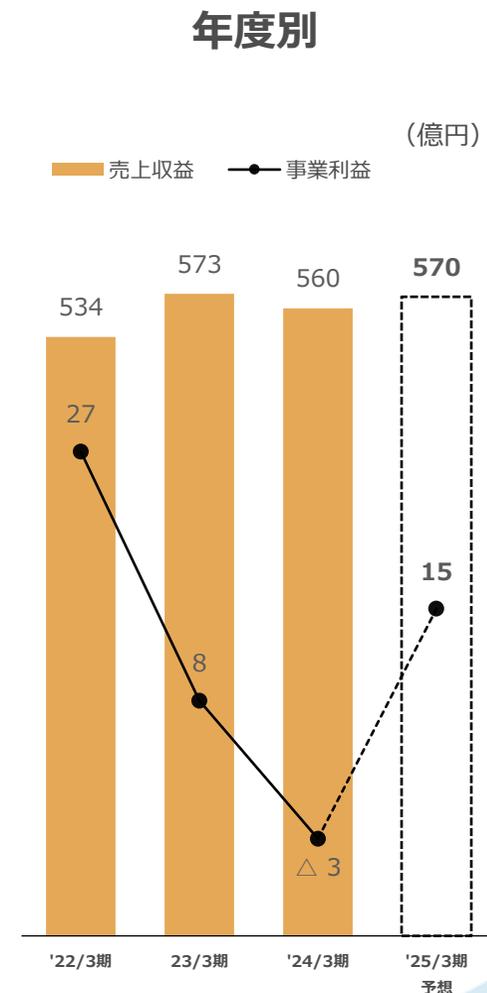
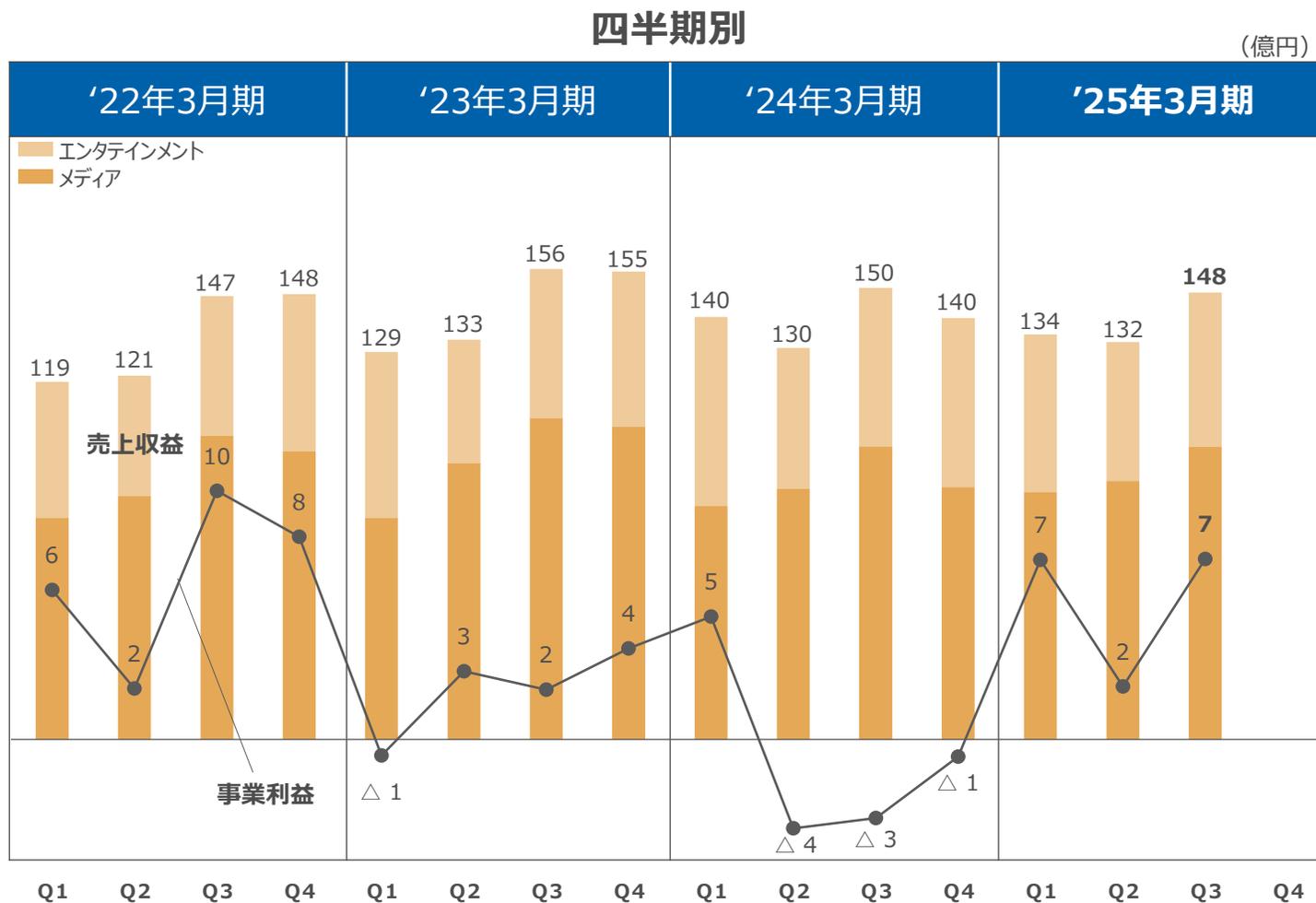
# S&S 売上収益・事業利益推移

- 3Q（10-12月）は、無線システムの将来に向けた先行投資増などの影響から前期比で減益も、北米公共安全市場向けの販売好調継続などから、前期比で増収



# ES 売上収益・事業利益推移

- 3Q（10-12月）は、エンタテインメントの販売減影響などから前期比で若干減収も、メディアで前期実施した構造改革効果、固定費削減効果などから、前期比で大幅増益、黒字転換

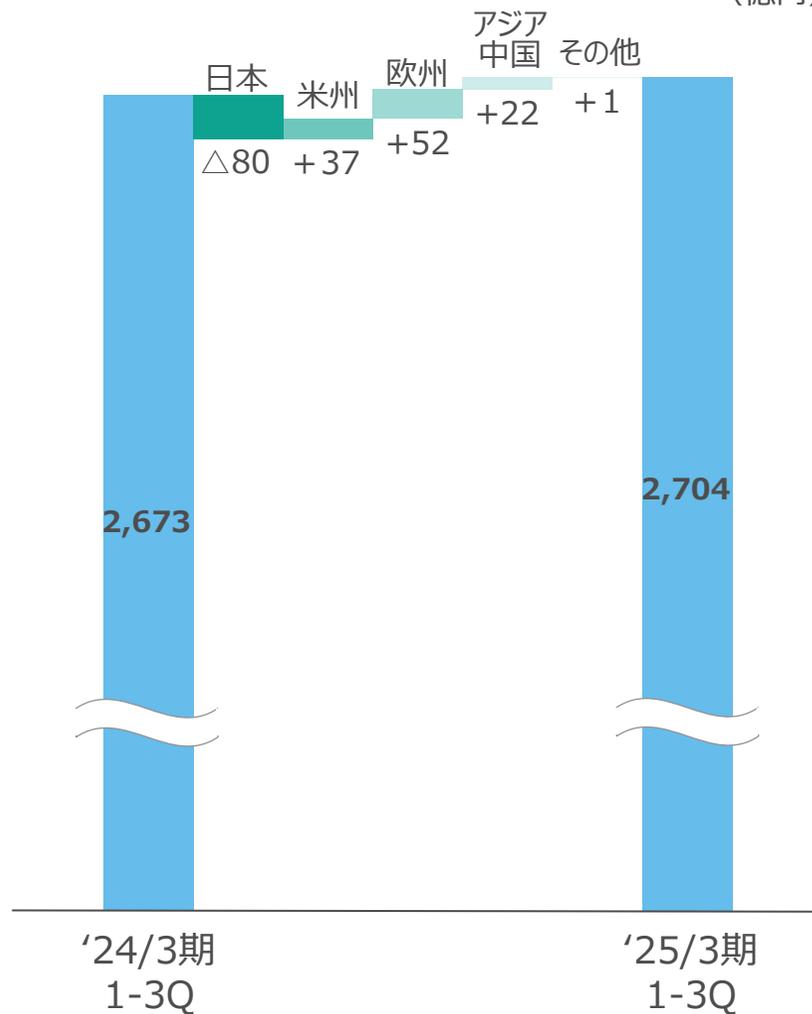


# 2025年3月期3Q累計決算 地域別連結売上収益

- 無線システムの北米公共安全市場向けの販売好調や、海外OEMの好調により、欧米及びアジア・中国が増収。日本はテレマティクスサービスの販売減などにより減収

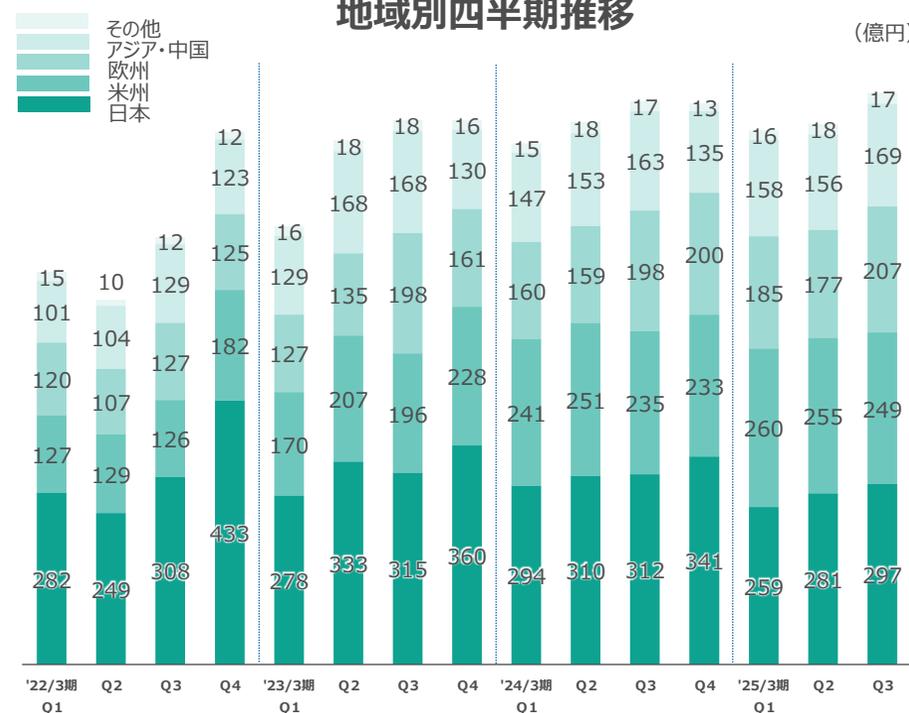
地域別増減

(億円)



地域別四半期推移

(億円)



地域別構成比推移

	'22/3期1-3Q	'23/3期1-3Q	'24/3期1-3Q	'25/3期1-3Q
日本	43%	37%	34%	31%
米州	20%	23%	27%	28%
欧州	18%	19%	19%	21%
アジア・中国	17%	19%	17%	18%
その他	2%	2%	2%	2%
合計	100%	100%	100%	100%

# 2025年3月期3Q累計決算 連結損益サマリー

- 営業利益は、金融資産の評価損や海外拠点の閉鎖費用を計上したものの、事業利益の増加や固定資産売却益などにより約18億円の増益
- 税引前四半期利益以下の段階損益は、持分法による投資利益が増加したことなどにより大幅増益

(億円)

	'22年3月期 1-3Q	'23年3月期 1-3Q	'24年3月期 1-3Q	'25年3月期 1-3Q	前年比
<b>事業利益</b>	2.7	112.2	160.2	<b>185.7</b>	+ 25.5
その他の収益・費用、為替差損益等	33.5	82.9	△ 10.3	△ 17.8	△ 7.5
<b>営業利益</b>	36.3	195.1	149.8	<b>167.8</b>	+ 18.0
金融収支他	△ 5.5	△ 1.6	△ 0.5	14.9	+ 15.4
<b>税引前四半期利益</b>	30.8	193.4	149.3	<b>182.8</b>	+ 33.4
法人所得税費用	21.6	33.1	33.6	35.6	+ 2.0
非支配持分	4.1	5.2	6.5	6.4	△ 0.0
<b>親会社の所有者に帰属する四半期利益</b>	5.0	155.1	109.2	<b>140.7</b>	+ 31.5

# 2025年3月期3Q累計決算 財政状態サマリー

- 親会社の所有者に帰属する持分は、利益剰余金の増加に加えその他の資本の構成要素の増加により、前期末比で110億円増の1,258億円
- ネットキャッシュは、前期末の6億円から37億円増加して43億円

(億円)

	'22年3月期末	'23年3月期末	'24年3月期末	'25年3月期 3Q	前期末比
資産合計	2,808	2,994	3,168	<b>3,227</b>	+ 58
負債合計	1,968	1,956	1,956	<b>1,901</b>	△ 55
資本合計	840	1,037	1,212	<b>1,325</b>	+ 113
有利子負債	698	625	573	<b>505</b>	△ 68
ネットキャッシュ	△ 211	△ 63	6	<b>43</b>	+ 37
ネットD/Eレシオ (倍)	0.27	0.06	△ 0.01	<b>△ 0.03</b>	△ 0.02
親会社の所有者に帰属する持分	795	988	1,148	<b>1,258</b>	+ 110
親会社所有者帰属持分比率 (%)	28.3	33.0	36.2	<b>39.0</b>	+2.8pt

# 2025年3月期3Q累計決算 キャッシュ・フローサマリー

- 営業キャッシュ・フローは、事業利益の増加に加えて運転資金の改善などにより、前期比で収入が大きく増加
- 投資キャッシュ・フローは、開発投資や新社屋建設費用などの支出増などから、前期比で支出が増加
- 財務キャッシュ・フローは、有利子負債の返済を進めたものの、自己株式取得による支出の減少などから、ほぼ前期並みの実績

(億円)

	'22年3月期 1-3Q	'23年3月期 1-3Q	'24年3月期 1-3Q	'25年3月期 1-3Q	前年比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 26	157	229	<b>289</b>	+ 60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 56	△ 10	△ 129	△ <b>168</b>	△ 38
フリー・キャッシュ・フロー	△ 82	147	99	<b>121</b>	+ 22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 71	△ 152	△ 168	△ <b>166</b>	+ 2
合計	△ 154	△ 4	△ 68	△ <b>44</b>	+ 24

1. 2025年3月期3Q累計決算概況

**2. 2025年3月期通期業績予想**

3. トピックス

<参考資料>

# 2025年3月期通期業績予想

- 3Q累計実績は、S&S 無線システムの北米公共安全市場向け業務用無線機の販売好調、M&T 海外OEMの堅調などから、全社売上収益、事業利益ともにほぼ想定通り
- 4Qも、S&S、M&T、ESの3分野において想定通りの販売を見込むことから、通期連結業績予想の修正はしない

(億円)

	'22年3月期	'23年3月期	'24年3月期	'25年3月期 業績予想 (2024/10/31)	前年比	
売上収益	2,821	3,369	3,595	<b>3,640</b>	+45	+1.3%
事業利益	71	158	197	<b>230</b>	+33	+16.7%
営業利益	91	216	182	<b>220</b>	+38	+20.7%
税引前利益	85	212	182	<b>230</b>	+48	+26.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益	59	162	130	<b>170</b>	+40	+30.6%
ROE(%)	8.1	18.2	12.2	<b>14.0</b>	+1.8pt	-
年間配当金 (円)	6	12 <sup>※1</sup>	12	<b>13<sup>※2</sup></b>		

※1：うち、特別配当5円 ※2：中間配当金 5円、期末配当金 8円

(円)

		'22年3月期	'23年3月期	'24年3月期	'25年3月期 業績予想 (2024/10/31)
損益為替レート	US1ドル	112	135	145	<b>147</b>
	1ユーロ	131	141	157	<b>159</b>

# 2025年3月期通期業績予想 分野別の状況

‘24/10/31発表予想から変更なし

(億円)

		‘22年3月期	‘23年3月期	‘24年3月期	‘25年3月期 業績予想 (2024/10/31)	前年比	
M&T	売上収益	1,643	1,976	1,994	<b>2,000</b>	+6	+0.3%
	事業利益	22	44	39	<b>40</b>	+1	+3.3%
S&S	売上収益	581	747	938	<b>1,000</b>	+62	+6.7%
	事業利益	25	107	165	<b>180</b>	+15	+9.2%
ES	売上収益	534	573	560	<b>570</b>	+10	+1.8%
	事業利益	27	8	△3	<b>15</b>	+18	-
その他	売上収益	63	74	103	<b>70</b>	△33	-32.0%
	事業利益	△3	△0	△4	<b>△5</b>	△1	-
合計	売上収益	2,821	3,369	3,595	<b>3,640</b>	+45	+1.3%
	事業利益	71	158	197	<b>230</b>	+33	+16.7%

1. 2025年3月期3Q累計決算概況

2. 2025年3月期通期業績予想

3. トピックス

<参考資料>

# 自己株式取得の実績

- 2024年11月6日から2025年1月31日の期間で約45億円分の自己株式を取得して終了

## <自己株式取得実績>

時期	金額	原資
2023年6月	約40億円	2022年度利益
2023年12月	約25億円	2023年度利益
<b>2025年1月</b>	<b>約45億円</b>	<b>2024年度利益</b>

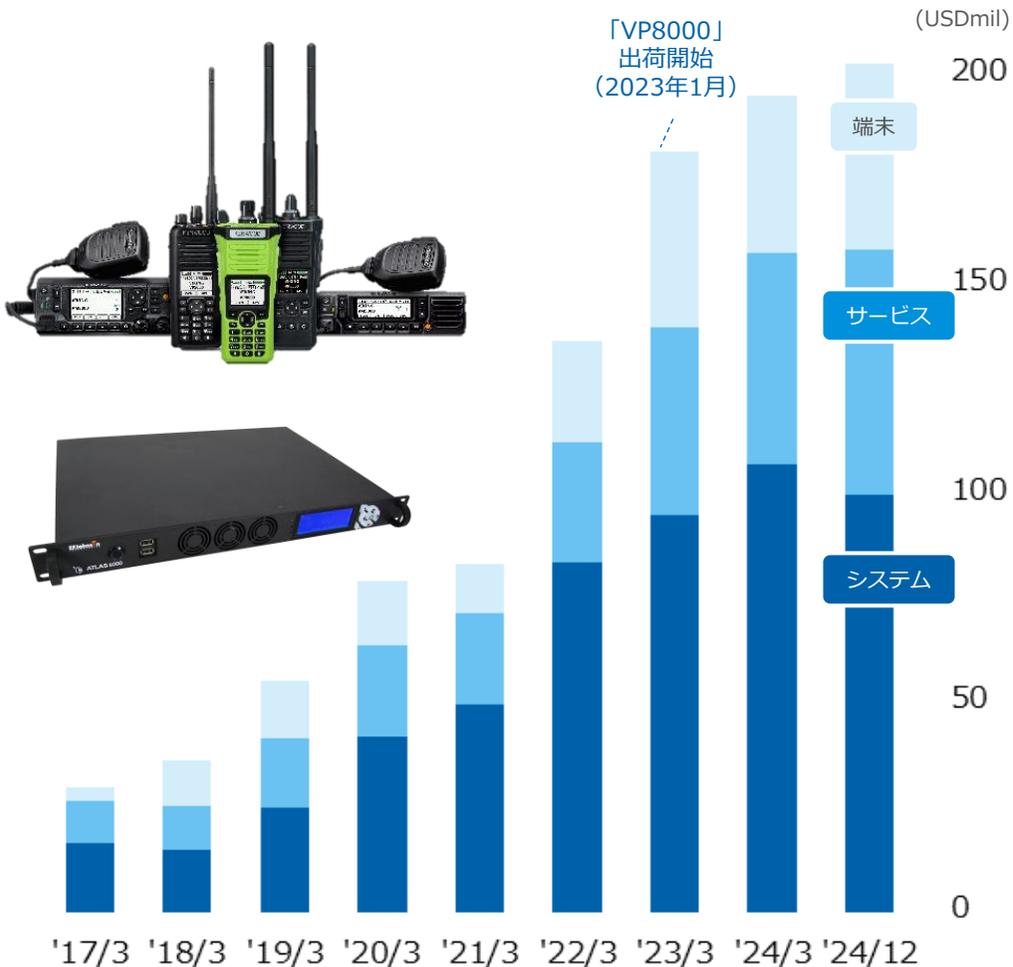
## <株主還元方針>

還元方針	総還元性向30~40%を目安とする
配当	安定的な配当かつ継続的な増配を目指す
自己株式取得	財務健全性の維持、成長事業への投資を確保しつつ、総還元性向の範囲内で機動的に実施

# S&S 無線システム事業 北米公共安全市場は堅調

- 北米公共安全市場向けの受注残は引き続き順調に増加

北米公共安全市場向け受注残推移



- 受注拡大に向けたラインアップ強化

✓ P25トライバンド対応車載用無線機「VM8000」納入開始 (2024年11月より)

- 3Q出荷台数：400台以上
- 4Q出荷見込み：2,000台以上

<主な納入先>

- Madison郡、イリノイ州
- Santa Fe郡、ニューメキシコ州 (消防)
- Bosque Farms、ニューメキシコ州 (消防ほか)



<VM8000>



# 無線システム事業 国内市場での取り組み

## 鹿島アントラーズとクラブパートナー契約を締結 (2024年10月広報発表)

### ■ 県立カシマサッカースタジアムでデジタル簡易無線中継システムの運用を開始 (2025年1月31日広報発表)

- ✓ 広大なスタジアムの全エリアでの通信を実現  
⇒試合運営における確実な通信手段を確保

### ■ 鹿嶋市内全域をカバーする無線通信網の確立、地域社会「共助」の仕組み作りを推進

- ✓ 鹿島アントラーズおよび鹿嶋市とともに推進

### ■ 鹿行地域※をカバーするコミュニケーション手段としての活用を目指す

NEXEDGE® CR  
デジタル簡易無線中継器  
「TCB-D239CR」



<スタジアム内に設置されたアンテナ>



©KASHIMA ANTLERS



デジタル簡易無線機  
「TCP-D261BTE」



※茨城県南東部に位置する地域で、鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市から構成

# 「VISION2025」事業ポートフォリオに基づいた経営基盤の強化

## ■ M&T分野の市場変化に対応した拠点・販売体制へ

### ✓ 成長牽引事業に位置付ける海外OEM事業の主軸であるイタリア子会社ASK※の拠点強化

- 受注拡大に対応すべく中国寧波市にある拠点を移転・拡張し、稼働開始（2025年1月）

### ✓ 欧州販売拠点の再構築

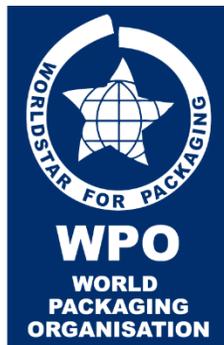
- フランス販売拠点の閉鎖と、欧州域内の販路の再編により固定費圧縮



＜新築したNingbo ASK Automotive Sound And Communication Co., Ltd.＞

# 環境配慮の取り組み事例

- “彩速ナビ”の商品梱包材が世界包装機構主催の国際コンテストで「ワールドスター賞」を受賞（[2025年1月27日広報発表](#)）



**WORLDSTAR  
WINNER 2025**



<製品梱包時のV形状のパルプモールド>

- ✓ 発泡スチロール（EPS）から紙（パルプモールド）に素材を変更し、プラスチック包装材の使用量を66%削減、生産時のCO<sub>2</sub>排出量を年間約47トン\*削減
- ✓ V形状にしたことで梱包材コストを低減。V形状は、製品を置くだけで閉じる機構のため梱包作業性が改善され、生産性も向上

## <JVCケンウッドグループ環境基本方針>

重要な環境項目として「気候変動への対応」と「資源の有効利用」を掲げ、それぞれCO<sub>2</sub>排出量の削減、プラスチック使用量の削減を目標として設定

# 企業理念シンボルマークの制定（2025年4月より展開）

## ■ 背景と目的

- ✓ 長期的な企業価値の向上を目指し、コーポレートロゴに加えて、企業理念「感動と安心を世界の人々へ」を象徴する「企業理念シンボルマーク」を新たに制定
- ✓ あらゆるステークホルダーが当社を一目で認知できるようなシンボルとして、2025年4月1日より使用を開始し、グローバルでのプレゼンス向上を図る



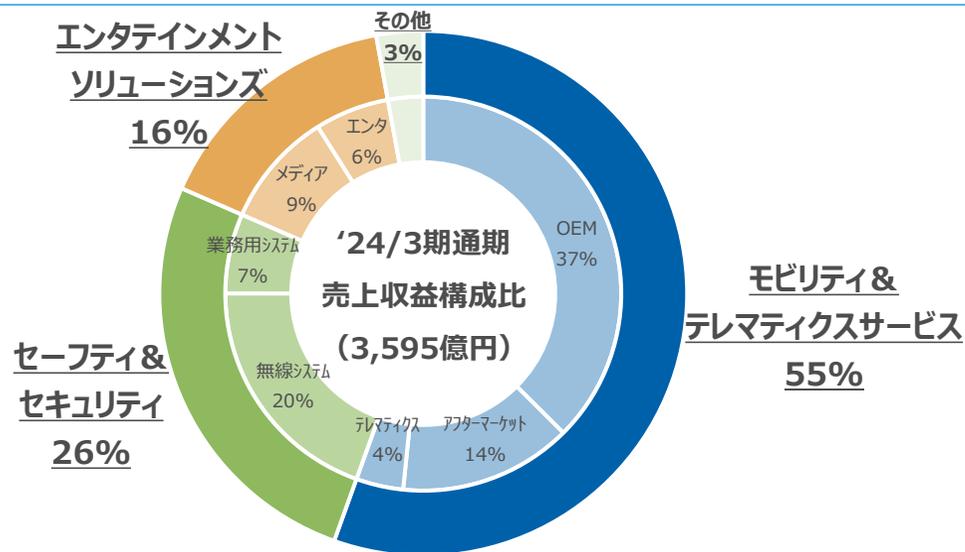
<企業理念シンボルマーク>

感動と安心を世界の人々へ

**JVCKENWOOD**

# <参考資料>

# 事業内容



## セーフティ&セキュリティ分野 (S&S)

### 無線システム

業務用無線システム

小電カトランシーバー

### 業務用システム

セキュリティシステム

業務用放送システム

医用画像表示モニター

## エンタテインメントソリューションズ分野 (ES)

### メディア

ヘッドホン/イヤホン

オーディオシステム

プロジェクター

ポータブル電源

### エンタテインメント

音楽・映像コンテンツ

## モビリティ&テレマティクスサービス分野 (M&T)

### OEM

カーナビゲーション

カーオーディオ

電気自動車の再生バッテリーを利用したポータブル電源

### アフターマーケット

アルコール検知器

除菌消臭装置

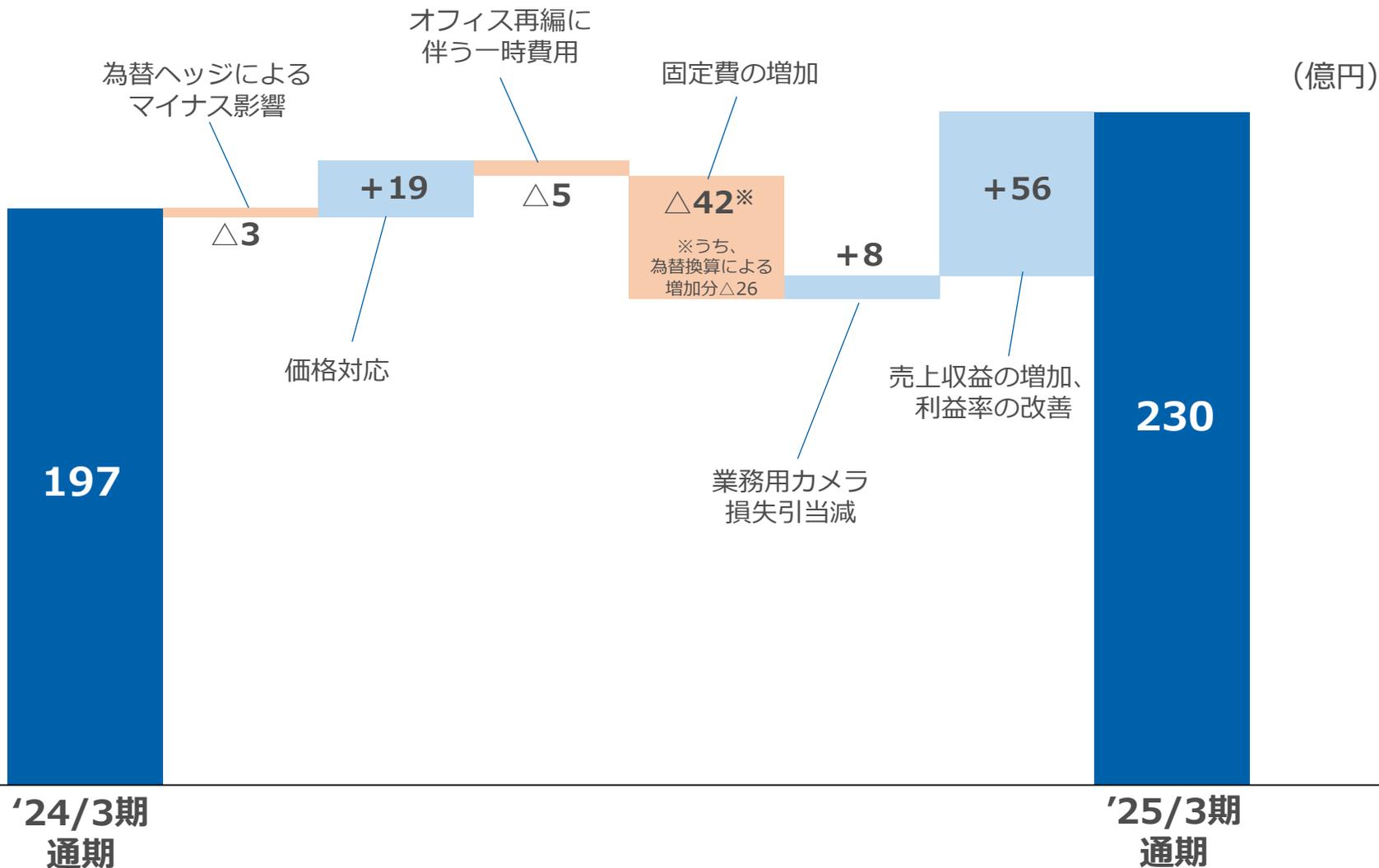
テレマティクスサービス

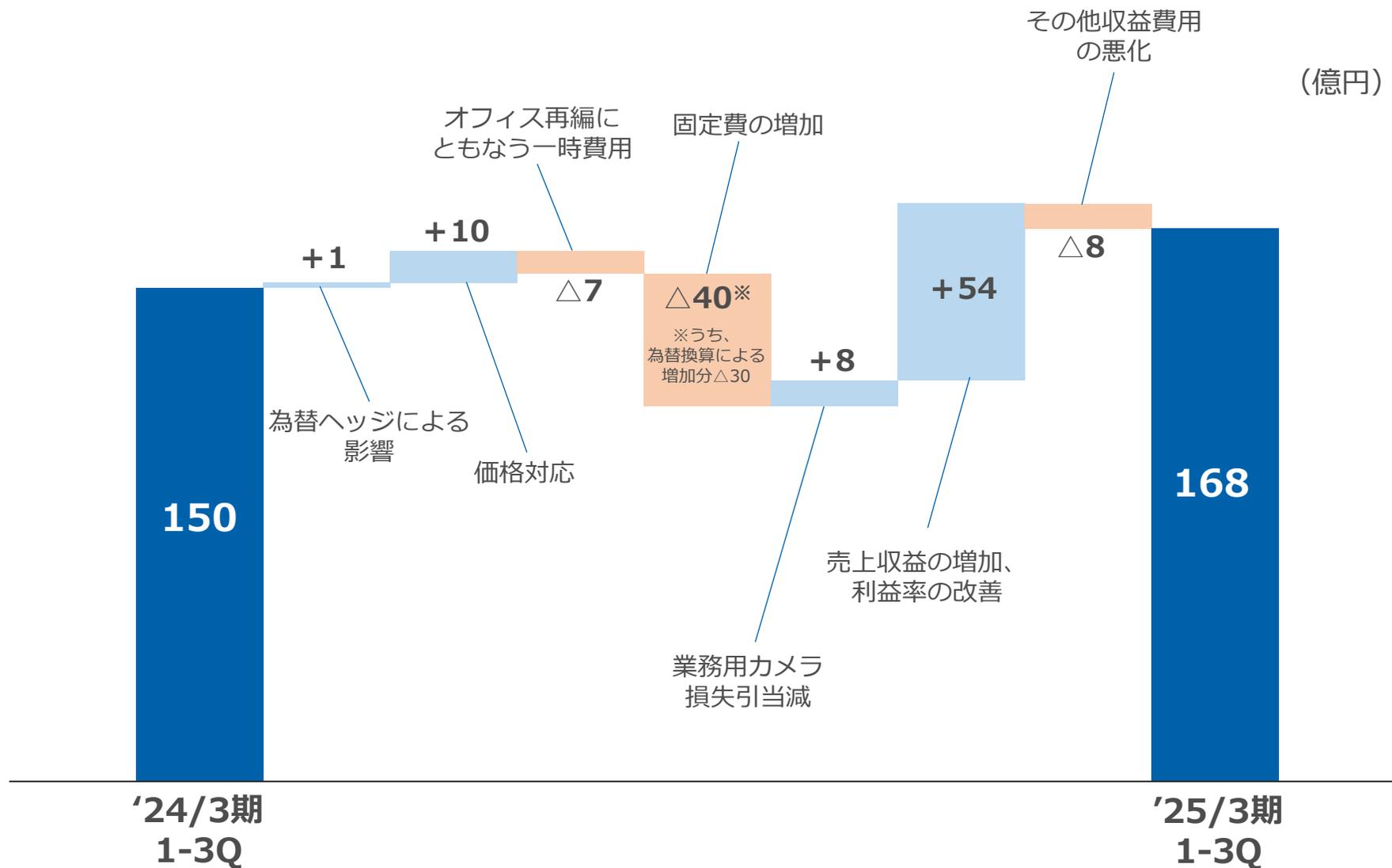
ドライブレコーダー

通信型ドライブレコーダー

# 2025年3月期通期業績予想 事業利益の増減要因 (対前年実績)

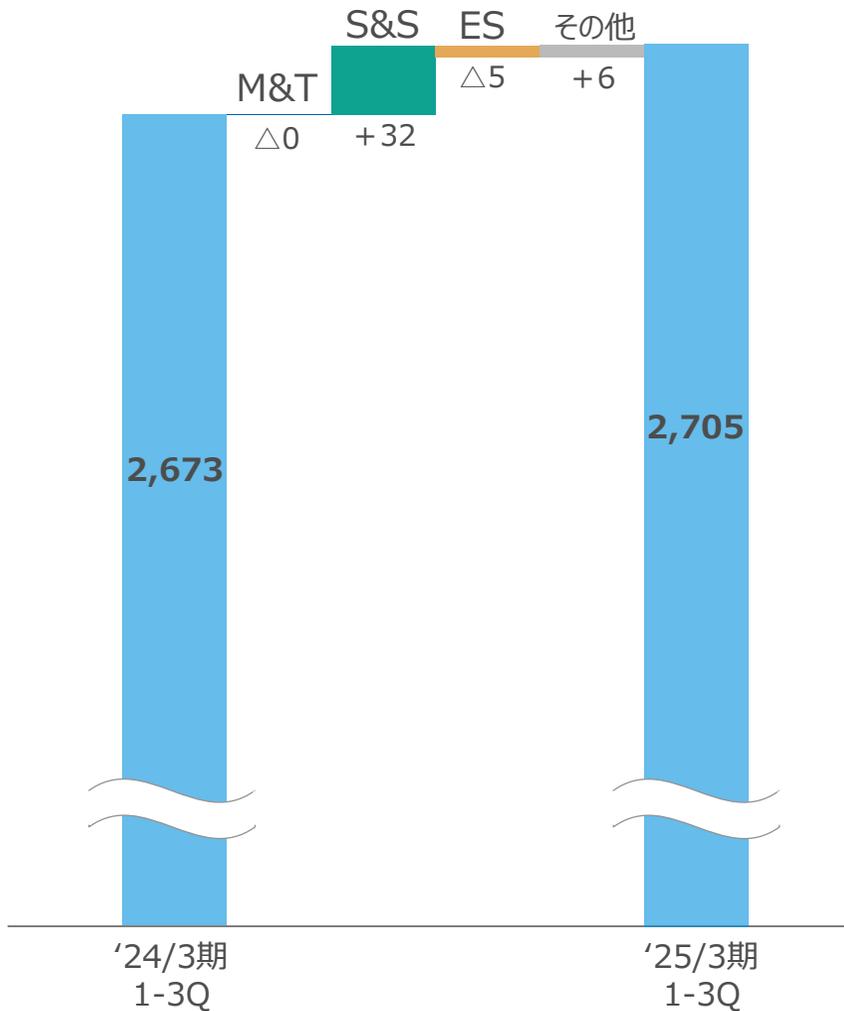
## '24/10/31発表予想から変更なし





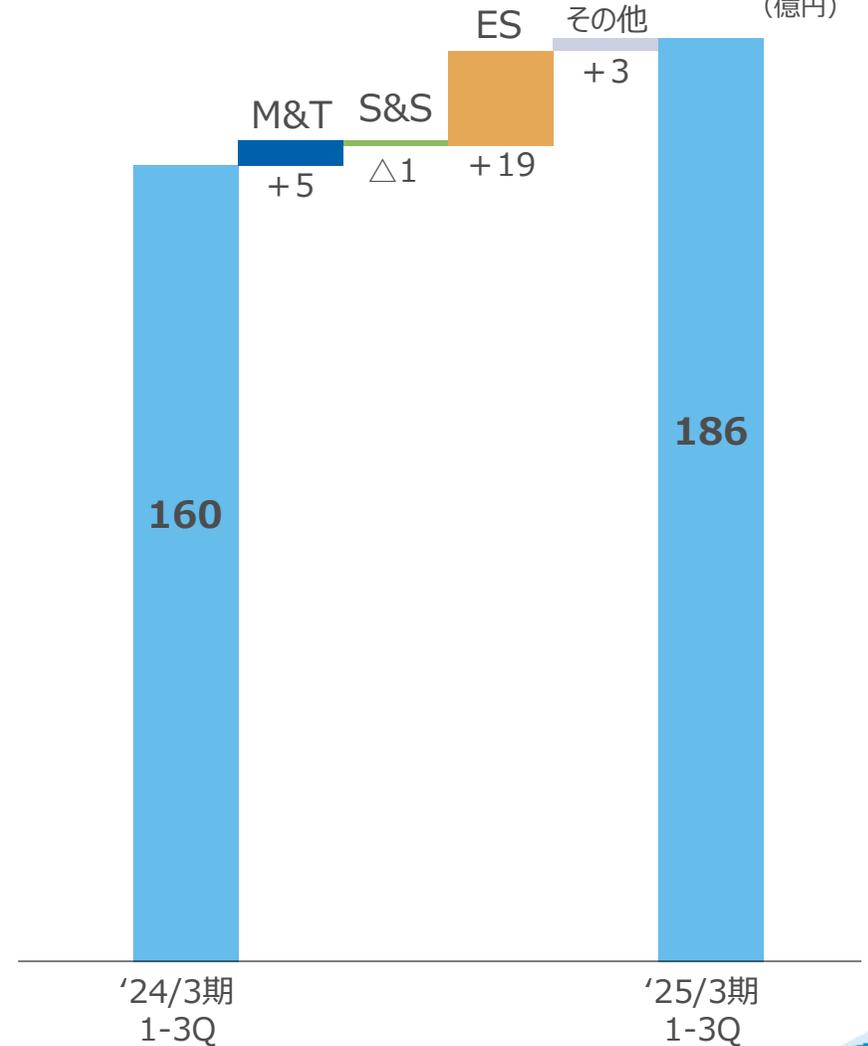
## 売上収益

(億円)



## 事業利益

(億円)



# 経営指標推移

## 設備投資・減価償却費・研究開発費推移

(億円)

	'22/3期					'23/3期					'24/3期					'25/3期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	
設備投資※ (有形+無形)	44	76	55	48	223	54	53	45	45	197	46	59	83	76	264	73	90	74			236
有形固定資産	22	52	30	20	124	33	30	28	23	114	26	36	60	49	170	41	62	42			145
無形固定資産	22	24	26	28	100	21	23	17	21	83	20	23	23	28	94	31	27	32			90
減価償却費	46	43	41	41	171	42	44	44	46	176	44	46	46	46	182	44	44	43			130
研究開発費	40	39	38	41	159	40	41	43	51	174	45	45	51	54	194	45	46	50			141

※ 有価証券報告書には、有形固定資産のみを記載

## 地域別売上収益推移

(億円)

	'22/3期					'23/3期					'24/3期					'25/3期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	
日本	282	249	308	433	1,272	278	333	315	360	1,286	294	310	312	341	1,258	259	281	297			837
米州	127	129	126	182	564	170	207	196	228	800	241	251	235	233	960	260	255	249			764
欧州	120	107	127	125	478	127	135	198	161	621	160	159	198	200	716	185	177	207			569
アジア+中国	101	104	129	123	457	129	168	168	130	595	147	153	163	135	597	158	156	169			484
その他	15	10	12	12	48	16	18	18	16	67	15	18	17	13	64	16	18	17			51
合計	645	599	702	875	2,821	720	861	894	894	3,369	856	891	926	922	3,595	878	888	939			2,705

# JVCKENWOOD

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、(1) 主要市場（日本、米州、欧州およびアジアなど）の経済状況および製品需給の急激な変動、(2) 国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、(3) ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、(4) 資本市場における相場の大幅な変動、(5) 急激な技術変化等による社会インフラの変動、などがあります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。